

(一財) 熊本県青年会館 平成29年度 事業報告

当年度は、新法人移行後の4年目で、熊本地震発生後2年目の年度となった。

会館利用実績は、前年度に引き続き、熊本地震復旧の宿泊客もあり、会館収入は4,486万円で前期4,524万円から38万円減の△0.83%となった。

また、料理収入は前期の539万円から577万円と38万円の増となった。概ね昨年度と同様の横ばいの売上となった。

支出では、2階ホール音響設備の改修、2階屋上の漏水工事、非常用発電バッテリーの取替などを行い、快適な会館施設の維持に努めた。

他方、料理部門では、宿泊者への料理提供のために必要な部門として収支の安定に取り組んできた。しかし、利用拡大が進まず支出が増加し、赤字が増加した。宿泊者への料理提供の体制を変更するなどにより、赤字部門の見直しが不可欠となっている。

青少年事業では、昨年度、減額してきた各種団体への助成金の交付を、通常の規模にて交付した。

尚、7年目を迎えた毎週日曜朝の「おはよ一朝市」の開催、若者の婚活を支援する「でいあYELL」開催を支援した。

熊本地震から2年目のなかで、精力的な会館経営に取り組んだものの、会館施設の改修の課題は残ったままであるが、今後において、収益確保を確実に進め、安定した経営を確立できることを念願して、次年度に引き継ぐこととする。

Ⅱ 事業報告

平成29年度は、一般財団法人熊本県青年会館の新法人移行後4年目となったなかで、下記の基本項目に取り組んだ。

- 1, 熊本地震による被災箇所の改修整備
- 2, 会館収益の確保
- 3, 公益事業及び各事業の充実

1, 熊本地震による被災箇所の改修整備

熊本地震による会館の内外壁の破損があり、早期の改修が求められているが、資金的な見通しが厳しいため、2階屋上の漏水工事など、必要な箇所から実施していくこととした。また、館内の音響設備、非常用発電バッテリーの交換等を実施した。

2階屋上の漏水防止工事	広誠設備(株)	814,320円
2階ホール音響設備の改修工事	(株)イチデン	734,400円
非常用発電バッテリーの取替	(株)イチデン	313,200円

また、長年活躍してきた営業車が故障続きのため、買い替えた。割賦による購入。
三井リース 495,000円 トヨタ ビイツ

宿泊利用者に対する館内備品の整備

宿泊者用の洗濯・乾燥機

ヤマダ電機 299,700円

宿泊室の冷蔵庫設置

ヤマダ電機 200,404円

2, 会館収益の確保

会議室部門

会議収入では、2,581万円(H28は2,502万円)、2,613単位(H27は2,456単位)の利用で利用単位数が157単位、売り上げが79万円増加した。

昨年度の熊本地震発生時の4-5月の利用の低迷分で、本年度は増加できた。

館内のトイレ改修、エレベータ改修が終了しているため、利用者にとっても快適な施設を提供できた。反面、会館内外の壁の傷みに対する補修ができていないため、今後の取組が必要となっている。

宿泊部門

宿泊収入では、1,478万円（＼1,562万円）、4,624人（＼4,863人）と利用は減少し、前年より84万円低下した。利用者では、建設復旧の関係者などの利用が定着しているが、個室の利用が多く、青少年団体や団体での利用の伸びが厳しいため、大幅な増加には至っていない。

今後も企業研修や各種団体、小中学校、高校、大学、スポーツ・文化団体等へのPRが求められる。

料理部門

料理収入は、577万円（＼539万円）と前年より38万円と横ばいとなった。

平日の利用が少ないため、曜日を絞っての営業としていて、宿泊者の食事や宴会利用、会議の昼食当の受付を主体とした。宿泊者の受入に必要な料理部門であり運営してきたが、料理部門のあり方を明確にして、今後の対策を講ずる必要がある。

◎料理販売の企画実施

生ビールフェスティバル	7－8月の6日間の開催
クリスマスディナーの開催	12月1日－25日迄開催

契約部門

1階事務室テナントとしては、日本ボーイスカウト熊本県連盟のみと契約している。

◎会館収入合計額

会議収入	25,810,057円
宿泊収入	14,783,124
契約収入	972,000
取扱収入	887,606
売店収入	603,845
附帯収入	1,339,161
雑収入	466,207
合計額	44,862,000

2. 公益事業及び各事業の充実

・青少年団体活動助成金交付

平成29年度の青少年団体活動助成金については、平成29年6月24日、当会館にて会館事業実施委員会を開催して、今後の活発な活動が期待される下記の3団体への助成金交付を決定した。

熊本県青年団協議会	588,776円
日本ボーイスカウト熊本県連盟	300,000円
熊本県日中協会	50,000円

合 計

938,776円

・日曜朝市の開催

日曜朝市は、本年度末で約7年を迎えた。恒例となった日曜の朝8時から10時までの2時間程度の開催であり、会館の近隣の住民の皆様への新鮮な野菜・果物をお届けすることで、会館と住民のふれあい交流の場となっている。

今後も出店者の増加を図り、活気ある朝市としていくことが期待されている。

・でいあYELLの開催支援

青年団OBが主体となり、会館を中心にして婚活の場の提供を展開してきた「でいあYELL」では、季節毎の開催が定着した。今後、さらにfacebookを活用しての様々な企画と会員拡大への取組が求められる。

・第46号青年会館だより発行

7/10 1,200部発行

本年も、Yung Wave として発行した。

本年は、一般財団法人熊本県青年会館の移行認可の4年目として、これまでの会館事業を紹介した。